

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）堀田 哲平
問合せ先責任者（役職名）業務部長（氏名）山本 泰弘（TEL）072-861-5322
半期報告書提出予定日 2025年5月15日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	590	32.3	113	—	114	—	△33	—
2024年9月期中間期	446	△31.3	△30	—	△29	—	△26	—

（注）包括利益 2025年9月期中間期 △33百万円（—%） 2024年9月期中間期 △26百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	△32.53	—
2024年9月期中間期	△25.16	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	1,786	1,645	92.1
2024年9月期	1,929	1,716	88.9

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 1,645百万円 2024年9月期 1,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,050	6.4	70	273.5	70	261.0	△30	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	1,073,500株	2024年9月期	1,073,500株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	29,863株	2024年9月期	29,406株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	1,043,850株	2024年9月期中間期	1,037,431株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、経済活動の正常化による個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら、国際情勢が一段と不安定化しており、原材料・エネルギーコストの高止まりによる物価高、地政学リスクの拡大等により、先行きは依然として不透明な状況にあります。また、当社グループを取り巻く事業環境においては、半導体・電子材料関連の需要について復調の兆しが見え始めております。

このような状況のもと、当社は2024年11月14日に公表しました3か年中期経営計画(2025年9月期～2027年9月期)に基づき、

- ①積極的な新規案件の獲得による技術力・対応力の更なる強化
- ②お客様のニーズに応えるプラントの設計・製造
- ③既存技術・ノウハウを活用した新たな装置の開発

等の企業活動に取り組み、長期的な企業価値向上に努めております。

受託蒸留事業では、一部の主要顧客との取引縮小による影響は残るものの、半導体・電子材料向けの需要は緩やかながら好転しております。また、プラント事業では、展示会への出展や広報活動等を通じて、引き続き自社オリジナル装置の販路拡大に努めております。

なお、2025年2月13日に公表いたしました「株式会社ダイセキによる当社株式に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」に記載のとおり、株式会社ダイセキによる当社株式に対する公開買付けは不成立となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、590,311千円(前年同期比32.3%増)となりました。利益面におきましては、大幅な増収に伴い、営業利益は113,840千円(前中間連結会計期間は営業損失30,499千円)、経常利益は114,458千円(前中間連結会計期間は経常損失29,745千円)、また、上記の公開買付けに伴う関連費用ほか122,745千円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純損失は33,958千円(前中間連結会計期間は親会社株主に帰属する中間純損失26,096千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

(受託蒸留事業)

受託蒸留事業におきましては、半導体・電子材料向けの前倒し需要に加え、資源エネルギー関連の蒸留案件の引き合いが好調だったことにより、受託蒸留事業の売上高は560,255千円(前年同期比35.9%増)、セグメント利益は264,625千円(前年同期比125.6%増)となりました。

(プラント事業)

プラント事業におきましては、当中間連結会計期間はメンテナンス・消耗品販売が中心となったことにより、プラント事業の売上高は30,056千円(前年同期比11.5%減)、セグメント損失は28,554千円(前中間連結会計期間はセグメント損失22,091千円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ143,005千円減少し、1,786,519千円となりました。

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ81,516千円減少し、1,045,152千円となりました。主な要因は、現金及び預金が89,203千円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が88,056千円、原材料及び貯蔵品が62,587千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ61,488千円減少し、741,367千円となりました。主な要因は、繰延税金資産が19,378千円、建設仮勘定が17,384千円、建物及び構築物(純額)が10,530千円減少したことによるものであります。

②負債

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ72,346千円減少し、141,101千円となりました。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ72,355千円減少し、133,997千円となりました。主な要因は、未払消費税等が20,036千円増加した一方、買掛金が80,214千円、未払法人税等が12,042千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ8千円増加し、7,103千円となりました。主な要因は、資産除去債務が8千円増加したことによるものであります。

③純資産

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ70,659千円減少し、1,645,418千円となりました。主な要因は、損失の計上及び剰余金の配当等により利益剰余金が70,501千円減少したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ89,203千円増加し、851,507千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は130,164千円(前年同期は56,383千円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純損失8,287千円があったものの、売上債権の減少額95,280千円、減価償却費41,130千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により使用した資金は、4,396千円(前年同期は36,439千円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出2,931千円、有形固定資産の除却による支出1,465千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により使用した資金は、36,564千円(前年同期は36,142千円の支出)となりました。その主な要因は、配当金の支払額36,406千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、2024年12月13日付「特別損失の計上に伴う2025年9月期通期業績予想及び配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

当中間連結会計期間における営業利益及び経常利益は、通期の連結業績予想数値を超過しておりますが、前倒し需要による影響等を踏まえ、通期では計画どおりの進捗を見込んでおります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	762,303	851,507
受取手形、売掛金及び契約資産	177,453	89,396
電子記録債権	9,703	2,479
商品及び製品	25,330	19,294
仕掛品	24,382	28,741
原材料及び貯蔵品	102,361	39,774
前払費用	15,737	8,858
未収消費税等	1,367	599
その他	8,029	4,499
流動資産合計	1,126,669	1,045,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	395,939	385,409
機械装置及び運搬具(純額)	142,435	131,048
土地	157,071	157,071
建設仮勘定	28,120	10,735
その他(純額)	32,358	26,121
有形固定資産合計	755,925	710,386
無形固定資産		
ソフトウェア	2,463	1,472
その他	429	138
無形固定資産合計	2,893	1,610
投資その他の資産		
長期前払費用	11	4,583
繰延税金資産	33,522	14,144
その他	10,502	10,642
投資その他の資産合計	44,036	29,370
固定資産合計	802,855	741,367
資産合計	1,929,525	1,786,519

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,197	4,982
未払費用	31,382	29,943
未払金	30,089	31,773
未払法人税等	21,934	9,892
未払消費税等	1,709	21,745
賞与引当金	23,424	25,656
預り金	12,430	9,682
その他	183	320
流動負債合計	206,353	133,997
固定負債		
資産除去債務	7,094	7,103
固定負債合計	7,094	7,103
負債合計	213,447	141,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,497	346,497
資本剰余金	313,447	313,447
利益剰余金	1,099,714	1,029,212
自己株式	△43,582	△43,739
株主資本合計	1,716,077	1,645,418
純資産合計	1,716,077	1,645,418
負債純資産合計	1,929,525	1,786,519

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	446,125	590,311
売上原価	282,723	283,651
売上総利益	163,401	306,659
販売費及び一般管理費	193,901	192,819
営業利益又は営業損失(△)	△30,499	113,840
営業外収益		
受取利息	0	4
受取手数料	5	5
確定拠出年金返還金	333	424
スクラップ売却収入	—	1,500
その他	823	148
営業外収益合計	1,162	2,083
営業外費用		
固定資産除却損	408	1,465
営業外費用合計	408	1,465
経常利益又は経常損失(△)	△29,745	114,458
特別損失		
減損損失	—	8,631
公開買付関連費用	—	114,113
特別損失合計	—	122,745
税金等調整前中間純損失(△)	△29,745	△8,287
法人税、住民税及び事業税	431	6,293
法人税等調整額	△4,079	19,378
法人税等合計	△3,648	25,671
中間純損失(△)	△26,096	△33,958
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△26,096	△33,958

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純損失(△)	△26,096	△33,958
中間包括利益	△26,096	△33,958
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△26,096	△33,958
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△29,745	△8,287
減価償却費	44,261	41,130
公開買付関連費用	—	114,113
減損損失	—	8,631
売上債権の増減額(△は増加)	10,073	95,280
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,643	64,263
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,139	△80,214
その他	14,810	27,395
小計	36,904	262,313
利息及び配当金の受取額	0	4
法人税等の支払額	△575	△18,057
法人税等の還付額	20,054	17
公開買付関連費用の支払額	—	△114,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,383	130,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,569	△2,931
有形固定資産の除却による支出	△6,270	△1,465
その他	△600	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,439	△4,396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△157
配当金の支払額	△36,142	△36,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,142	△36,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,198	89,203
現金及び現金同等物の期首残高	814,203	762,303
現金及び現金同等物の中間期末残高	798,005	851,507

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	302,714	—	302,714	—	302,714
研究開発支援	109,440	—	109,440	—	109,440
プラントサービス	—	33,970	33,970	—	33,970
顧客との契約から生じる収益	412,154	33,970	446,125	—	446,125
外部顧客への売上高	412,154	33,970	446,125	—	446,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37,893	37,893	△37,893	—
計	412,154	71,864	484,019	△37,893	446,125
セグメント利益又は損失(△)	117,298	△22,091	95,206	△125,706	△30,499

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△125,706千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,129千円、セグメント間取引消去4,422千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	380,189	—	380,189	—	380,189
研究開発支援	180,066	—	180,066	—	180,066
プラントサービス	—	30,056	30,056	—	30,056
顧客との契約から生じる収益	560,255	30,056	590,311	—	590,311
外部顧客への売上高	560,255	30,056	590,311	—	590,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37,834	37,834	△37,834	—
計	560,255	67,890	628,145	△37,834	590,311
セグメント利益又は損失(△)	264,625	△28,554	236,070	△122,230	113,840

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△122,230千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△125,886千円、セグメント間取引消去3,655千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
減損損失	—	8,631	8,631	—	8,631

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。